

番 号 : 141256

国 名 : ブルキナファソ

担当部署 : 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム

案件名 : 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクトフェーズ2 終了時評価調査(評価分析)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格 付 : 3号～4号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年3月下旬から2015年5月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.73M/M、合計 1.23M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地調査期間	整理期間
5日	22日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 3月4日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は、  
郵送(102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)  
(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型) 公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」([http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)))をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
    - ①業務実施の基本方針 8点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
  - (2) 業務従事者の経験能力 :
    - ①類似業務の経験 45点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
    - ③語学力 18点
    - ④その他学位、資格等 18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国/類似地域	ブルキナファソ/全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 :  
本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種 :  
黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)の提示が必要です。

## 6. 業務の背景

ブルキナファソでは、初等教育の機会拡大に重点的に取り組み、就学率向上などの成果が見られる。一方、留年率の高さや学習到達度の低さなどの課題が残っており、「基礎教育開発戦略プログラム (PDSEB : 2012-2021)」では、初等教育の質の強化を重点分野としている。教育の質の低さの理由としては、1教室あたりの児童数が過剰であること、教員の能力不足、教育行政官(視学官等)の支援体制が不十分であること、児童の親の教育への関与度が低いこと、カリキュラムの内容が実態とは合わないこと等が挙げられる。

JICAは、2008年1月から2011年1月までの3年間、ブルキナファソ国民教育・識字省 (MENA・旧基礎教育識字省 (MEBA)) をカウンターパート (C/P) 機関として、「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト (SMASE)」(以下「フェーズ1」) を実施した。プロジェクトでは、ケニア中等理数科教育強化計画で開発された学習者中心アプローチの授業理念である、Activity、Student-centered、Experiment、Improvisation (活動、生徒中心、実験、創意工夫 (ASEI)) の要素を含んだ授業を目指して、Plan、Do、See、Improve (計画、実践、評価、改善 (PDSI)) のアプローチの普及を実施した。具体的には、プロジェクト対象4県の視学官と教員分科会 (GAP) 代表者 (主に校長) の研修を実施した。これにより、GAP研修での質を改善することで教員の能力向上を図り、教室での授業実践が改善した。MENAは、フェーズ1の取り組みを高く評価し、その成果の全国拡大と、授業の質の向上を持続させる仕組み作りに対する支援を我が国に要請した。

これを受け、JICAはMENAをC/P機関として、2012年1月から2015年9月まで3年9ヶ月の予定でフェーズ2を開始し、2名の長期専門家 (理数科教育、業務調整/研修運営) を派遣して協力を実施している。同フェーズ2では、授業評価ツールの改訂、研修内容の改善、教員による一方的な授業に依らない、学習者中心型アプローチに関する授業実践向上のための研修実施 (視学官、校長、GAP代表者対象)、GAP研修及び授業モニタリング・評価支援、授業好例の収集を目的とした理数科コンテストの開催、プロジェクト効果の持続性確保のための制度強化等を行っている。

研修活動においては、ブルキナファソ45県中フェーズ1対象の4県については、教員を対象としたリフレッシュ研修を、その他の9県については研修講師育成のための研修、及び教員向けの研修 (GAP研修) を実施した。しかし、教育省の政策変更によりGAP研修制度が廃止され、年一回の短期集中型の研修 (5日間) に変更された。これを受けて、プロジェクトでは、中間レビューを通じて協力内容の見直しを行った。具体的には、毎年実施される学年別の教員研修の機会を通じて引き続きASEI-PDSIをテーマとして現職教員研修を実施するとともに、理数科学習指導案の作成・配布を通じた授業改善を図ることとした。指導案作成は、プロジェクトカウンターパート (研修講師) とともに実施し、1年生~6年生/1~3学期分の理数科の全指導案 (863指導案) を作成済みである (MENAにより承認済み)。2015年度上半期に実施される予定の学年別教員研修において、本指導案の実践指導も行われることとなっている。

今回実施する終了時評価調査は、2015年9月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続を十分に把握の上、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性) を確認するために、必要なデータ・情報を収集・整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続については監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間 (2015年3月下旬~4月上旬)

ア フェーズ1プロジェクトを含む既存の文献・報告書等 (事業進捗報告書、業務完了報告書、合同調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等) をレビューし、プロジェクトの実績 (投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等) ・実施プロセスを整理・分析する。

イ 既存のPDMIに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目

- とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべき情報を整理する。
- ウ 評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関、その他ブルキナファソ側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(案)(英文)を作成する。
  - エ 調査団内の検討のため、評価グリッド(案)を用いて評価デザイン(案)(和文・英文)を検討する。
  - オ 国内で収集可能なデータを整理・分析し、それらの現時点の既存情報に基づき、評価の記入作業を予備的に行う。
  - カ 他の主要ドナーの動向(中期計画、実施中案件の内容及び進捗等)を情報収集する。
  - キ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間(2015年4月上旬～4月下旬)

- ア JICAブルキナファソ事務所等との打合せに参加する。
- イ プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。
- ウ ブルキナファソ側C/Pと協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収・整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
- エ 当該関連分野に関する他ドナーの動向、今後の方針について情報収集・整理する。
- オ 収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- カ 国内準備作業並びに上記ウ～オで得られた結果をもとに、他団員及びブルキナファソ側C/Pとともに評価5項目の観点から評価を行い、合同終了時評価報告書(案)(英文)の取りまとめに協力する。
- キ 調査結果や他団員及びブルキナファソ側C/Pからのコメント等を踏まえた上で、PDM及びPOの修正案(英文)の取りまとめに協力する
- ク 合同終了時評価報告書(案)(英文)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
- ケ 協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
- コ 担当分野に係る現地調査結果をJICAブルキナファソ事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間(2015年4月下旬～5月中旬)

- ア 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)の作成に協力する。
- イ 帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ウ 担当分野の調査結果を取りまとめ、終了時評価調査報告書(案)(和文)を作成するとともに、同報告書全体の取りまとめに協力する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(1)～(3)のすべてとする。

- (1) 合同終了時評価報告書(英文)
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。

留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

航空賃については、成田(羽田)⇒パリ⇒ワガドゥグー(標準)を想定します。

## 10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2015年4月5日～2015年4月26日を予定しています。本業務従事者は、当機構の調査団員に約1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括 (JICA)

イ) 協力企画 (JICA)

ウ) 評価分析 (コンサルタント)

なお、本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです（本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています）。

・理数科教育（長期専門家）

・業務調整／研修運営（長期専門家）

③便宜供与内容

当機構ブルキナファソ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舍手配

あり

ウ) 車両借上げ

必要な移動に係る車両の提供（市外地域への移動を含む。）

エ) 通訳備上

あり(英語⇄仏語)

オ) 現地日程のアレンジ

機構がアレンジします。

カ) 執務スペースの提供

なし

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

①閲覧資料

- ・プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/project/burkinafaso/003/index.html>)
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画終了時評価調査報告書」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善計画実施協議報告書(付第一次・第二次事前評価調査報告書)」
- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト・フェーズ2 (SMASEブルキナ2) 実施協議報告書」  
(<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjDoc563.nsf/VW02040104/24C93E7436CC9CFA49257A690004A1BA?OpenDocument>)
- ・「基礎教育セクター情報収集・確認調査 国別基礎教育セクター分析報告書 -ブルキナファソ-」
- ・プロジェクト基本情報 (ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報)

<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/11964ab4b26187f649256bf300087d03/6687a23f64cc478e4925775f0079f9b4?OpenDocument>

②配布資料

- ・「ブルキナファソ 初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト・フェーズ2 (SMASEブルキナ2) 中間レビュー報告書」

※上記の資料は、当機構人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二チーム (TEL:03-5226-8324) にて配布します。

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②ブルキナファソ国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAブルキナファソ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。
- ③資料の多くが仏文であるため、仏語で業務遂行する能力を有することが望ましい。

以上